

事業報告書

1 支援団体名	特定非営利活動法人嘉瀬川交流軸								
2 事業名称	嘉瀬川ダム上下流交流事業―「水恵無限」感謝プロジェクト								
3 実施日時	平成26年10月25日 (嘉瀬川ダム感謝祭) 平成26年10月20日 (おもてなし事業) 平成26年4月～平成27年3月28日 (記録・出版事業)								
4 実施場所	佐賀市富士町嘉瀬川ダム富士しゃくなげ湖畔「水恵無限」碑前広場								
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容) *できるだけ詳細に</p> <p>午前11時より佐賀市金立金刀比羅神社権禰宜の導きにより神事を行った後、後藤信孝(元嘉瀬川ダム工事事務所長)が進行役となって「秋の収穫嘉瀬川ダム感謝祭」を行った。荒牧実行委員長の開会の挨拶の後、田島健一白石町長が、水が白石町に送られたことに対する感謝の辞を、赤司邦昭佐賀副市長が地元富士町と嘉瀬川の水の恵みに対する感謝を述べられた後、重田音彦佐賀市議会議員、吉浦武徳嘉瀬川ダム利活用推進協議会会長のお二人から歓迎の辞を戴いた。</p> <p>松永憲明佐賀市議会議員の来賓挨拶のあと、白石町の文化的遺産である「鉦浮立」と「餅つき」を奉納して式典を終了した。式典終了後、富士町民、白石町民、その他立会人として参加いただいた方々とで交流会を行った。白石町と富士町の産物を使った数々の料理を「菖蒲御膳」の方々(富士町)が振る舞われる中、白石町に伝わる奇祭「餅すすり」の妙技が示された。感謝祭を行った水恵無限碑が建つ広場脇に上下流交流のあかしとして白石町の町花である桜と富士町の町花であるシャクナゲを植樹したことが披露された。</p> <p>また、11月18日の週に、嘉瀬川ダムにかかわりのある10自治会(西畑瀬、菖蒲、栗並等)に協力戴いて、感謝祭に向けた「おもてなし」清掃を実施していただいた。</p> <p>(事業実施効果)</p> <p>公共事業に対して厳しい目が向けられる中、ダムの受益者が建設された地元に出向いて感謝の念を述べ、ダムで長年住み慣れた土地を去らざるを得なかった人々と交流することにより、嘉瀬川ダムのような地域にとってどうしても必要な社会基盤があることを社会に対して示すことができた。今後の公共事業推進の一助になるものと確信する。</p>								
6 参加内訳	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総人数</td> <td style="text-align: right;">165名</td> </tr> <tr> <td>(1) 主催者参加</td> <td style="text-align: right;">15名</td> </tr> <tr> <td>(2) 日本人参加 ((1)を除く)</td> <td style="text-align: right;">150名</td> </tr> <tr> <td>(3) 外国人参加 ((1)を除く)</td> <td style="text-align: right;">0名</td> </tr> </table>	総人数	165名	(1) 主催者参加	15名	(2) 日本人参加 ((1)を除く)	150名	(3) 外国人参加 ((1)を除く)	0名
総人数	165名								
(1) 主催者参加	15名								
(2) 日本人参加 ((1)を除く)	150名								
(3) 外国人参加 ((1)を除く)	0名								
7 今後の方針	嘉瀬川ダム対策協力会(白石町、小城市、佐賀市など)の後継組織である水源地域連携・活性化促進協議会の結成が平成25年6月にずれ込んだため、今年度は特定非営利活動法人嘉瀬川交流軸が主体となって実行委員会を設け事業を行った。次年度以降は、水源地域連携・活性化促進協議会が主催する事業として開催する方向を模索する。								

祝詞奏上



玉串奉奠



荒牧 軍治感謝祭実行委員長開会挨拶



宝島(むるしま)面浮立の奉納(白石町)



夫婦石太鼓奉納(富士町)



感謝祭のおもてなしプロジェクト①

